

# グリーンローンフレームワーク

2022年7月28日

株式会社WAKO



(イメージ)プロジェクトNo.13 宇部川上発電所

## 目次

1. はじめに.....	P3-4
1-1. 借入人概要.....	P3
1-2. CSR・ESGへの取り組み.....	P3-4
1-3. グリーンローン借入の位置付け.....	P4
2. 調達資金の使途.....	P5-7
2-1. 資金充当予定のグリーンプロジェクト.....	P5
2-2. 環境改善効果.....	P6
2-3. ネガティブインパクト.....	P6
2-4. 資金充当の予定.....	P7
3. プロジェクトの評価および選定のプロセス.....	P8
3-1. 環境面での目標.....	P8
3-2. プロジェクトの評価・選定のプロセス.....	P8
4-1. 調達資金の管理方法.....	P8
4-2. 未充当資金の運用方法.....	P8
4-3. 文書管理の方法.....	P8
5. レポーティング方針.....	P9
5-1. レポート方法.....	P9
5-2. 開示内容.....	P9
5-3. レポーティング体制.....	P9
6. 外部レビュー方針.....	P9

## 1. はじめに

### 1-1. 借入人概要

#### <WAKOグループ>

WAKO GROUPは、創業以来「誠実」という一貫した姿勢で、サービスの向上や、商品の提供に努めてまいりました。今後も、アミューズメント事業、不動産、太陽光発電事業、マリンスポーツ、商品開発、飲食、また音楽・多目的ホール運営に至るまで、多様化するライフスタイルに新しい提案を行う創業企業として、自由な発想のもと、あらゆる分野における夢の創造と実現を図り、地域社会への貢献を目指しております。

#### <株式会社WAKO(借入人)>

株式会社WAKO(以下、当社)は昭和62年に創業し、7つの事業を行うWAKO GROUPの中核企業として、不動産賃貸業を主な事業とし、広島市を中心に複数の物件を所有しております。近年は、太陽光発電所建設にも注力しており、再生エネルギーの普及によりCO2削減に貢献するなど、SDGsの達成に向けて取組を実施しております。

### 1-2. CSR・ESGへの取り組み

#### <環境理念>

WAKO GROUPでは「次世代へ繋げる企業」を基本理念として掲げております。

現在我々は、特に地球温暖化に代表されるような、過去の公害問題とは異なる形の環境問題に直面しております。

この環境問題は、人々の日常生活と密接に係わっておりまた因果関係が複雑に絡み合ってもたらされていることから、限定された国や一部の地域だけで解決できるものではありません。

しかし、近い将来の人類存続の危機をもたらすと思われるこの問題について、後世に負の遺産を残さないように、社会を構成する全ての人間が、現在何をなすべきかを考え、全ての生物と共存繁栄が可能な社会を構築するための答えを出さなければなりません。

その社会を実現するためには、あらゆる主体が環境への負担低減に自主的且つ積極的に取り組むことが必要となります。

このような認識に立ち、WAKO GROUPは「環境自主行動計画」を策定し、地球環境保全につとめております。

#### <環境負荷低減への取り組み>

WAKO GROUPは次世代へ繋げる企業として、エネルギーを支える「発電政策」や「省エネ政策」を事業規模で行っております。

#### 【エネルギー開発】

現在WAKO GROUPでは、2013年4月より合同会社を立ち上げ東広島・北広島に合計6,200KWの発電能力を持つソーラー発電所を運営しました。現在では合計約90,000KW(2022年7月)のソーラー発電所を運営しております。太陽光は台風や、地震といった自然災害時や、計画停電の際、日中であれば自身で稼働をし、電気を共有することが可能です。化石燃料を使用しCO2を多く排出する電気と違い、その地域で電気を作り出し、地産地消型で自然エネルギーを有効に利用することができます。エネルギー資源を使うビジネス活動だからこそ、昨今のエネルギー需要に貢献できる公共的事業体制を整えております。

#### 【アミューズメント施設 全店照明LED化】

現在アミューズメント施設テキサスでは、14店舗の店内外全ての照明を、エネルギー効率の良いLEDに変更しております。企業の社会的責任活動の一環として、環境負荷の低減に向けた取組を行っています。

### 1-3. グリーンローン借入の位置付け

当社は、気候変動緩和のためCO2排出量削減の重要性・必要性を実感する中で、SDGsへの取組指針において、「7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」および「13.気候変動に具体的な対策を」達成の貢献に向け、具体的な取組内容を定めております。今回のグリーンローン(以下、本ローン)は、太陽光発電所の建設プロジェクトであり、SDGsへの取組における、「7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」および「13.気候変動に具体的な対策を」達成に資する取組であると位置付けております。

## 2. 調達資金の用途

### 2-1. 資金充当予定のグリーンプロジェクト(全て太陽光発電)

本借入による調達資金は、以下のプロジェクトのリファイナンスに充当される予定です。ルックバック期間は2年です。本プロジェクトにより発電された電力については、FIT(固定価格買取制度)による売電を行う予定です。

No	プロジェクト名	稼働時期	年間想定発電量 (kWh)	年間CO2排出削減量 (t-CO2)
1	山口市徳地発電所	2021年4月	219,736	114.5
2	山口市小郡発電所	2021年4月	252,502	131.6
3	尾道御調町発電所	2021年7月	337,275	175.7
4	尾道御調第二発電所	2021年7月	62,822	32.7
5	宇部善和上吉原発電所	2021年12月	94,262	49.1
6	小野田津布田第一発電所	2022年3月	83,112	43.3
7	島根江津発電所	2022年1月	894,590	466.1
8	東広島高屋山陽道南発電所	2022年1月	293,546	152.9
9	東広島西条上三永発電所	2022年2月	1,053,273	548.8
10	宇部東岐波第二発電所	2022年3月	331,584	172.8
11	東広島小谷第二発電所	2022年3月	199,884	104.1
12	神石高原油木第一発電所	2022年3月	435,328	226.8
13	宇部川上発電所	2022年3月	1,834,656	955.9
14	吉田中馬発電所	2022年3月	362,136	188.7
15	安芸高田市美土里第一発電所	2022年3月	69,104	36.0
16	安芸高田市美土里第二発電所	2022年3月	32,784	17.1
17	安芸高田市美土里第三発電所	2022年3月	55,240	28.8
18	安芸高田市美土里第四発電所	2022年3月	33,292	17.3
19	神石高原時安発電所	2022年3月	427,004	222.5
20	神石高原永野発電所	2022年3月	119,560	62.3
21	防府牟礼末清発電所	2022年4月	319,902	166.7
22	防府牟礼新山発電所	2022年8月	1,033,837	538.6
	合計	-	8,545,431	4,452.2

## 2-2.環境改善効果

環境改善効果については、CO<sub>2</sub> 排出削減量を開示します。算定方法は、以下の通りです。

$$\text{CO}_2 \text{ 排出削減量 (tCO}_2\text{/年)} = \text{売電量 (kWh/年)} \times \text{電力 CO}_2 \text{ 排出係数 (kgCO}_2\text{/kWh)} \div 1,000$$

また、自然災害等により一時的に環境改善効果を生まなくなった軽微な影響の場合には、損害保険により、損害を受ける前のプロジェクトと同等の環境改善効果を得られるよう設備の修繕を行います。但し、損害の程度が大きく復旧が困難な場合等には、その物件に充当したグリーンローンの相当額を期限前弁済します。

## 2-3. ネガティブインパクト

プロジェクトがもたらすと想定される環境リスクおよび主な環境保全措置は、以下の通りです。

想定される環境リスク	主な環境保全措置および評価
生態系への影響	生態系への影響を最小限とするため事業用地の選定は主に未利用地(工場跡地、土捨て場、荒廃農地等)であり、環境保全・文化財保護等に関する法令、条例等を確認、法令遵守のうえ発電所の建設を行っており、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律に基づく、生息地等保護区に該当しておらず、希少植物の存在がないことを確認している。 尚、希少植物の存在の可能性がある場合は現地調査と標本の生育状況を調査し、法令および専門家の助言を受けた上で当該種の生育環境の保全措置を講じている。 必要に応じ定期的なモニタリングを行っている。
光害・景観への悪影響	個別の太陽光発電設備は小規模設備を主体とし、近隣に住宅が密集せず、周辺住民から光害・景観へのクレームが発生する可能性の低い物件を選定している。
濁水・表土等の土壌の流出	事業用地は主に未利用地(工場跡地、土捨て場、荒廃農地等)で大規模な造成が不要であるほか、ハザードマップを確認しリスクの低減を図っている。

#### 2-4. 資金充当の予定

以下プロジェクトの建設に係る費用に関しては、短期借入にて賄われております。本ローンの調達資金は上記短期借入資金のリファイナンスに充当される予定です。グリーンローンの期間は2022年7月末から2039年7月末の17年間を予定しています。

No	プロジェクト名	プロジェクト 充当予定額	プロジェクト 総額	新規資金	リファイナ ンス
1	山口市徳地発電所	25	25		25
2	山口市小郡発電所	26	26		26
3	尾道御調町発電所	42	42		42
4	尾道御調第二発電所	10	10		10
5	宇部善和上吉原発電所	13	13		13
6	小野田津布田第一発電所	11	11		11
7	島根江津発電所	150	150		150
8	東広島高屋山陽道南発電所	37	37		37
9	東広島西条上三永発電所	99	99		99
10	宇部東岐波第二発電所	41	41		41
11	東広島小谷第二発電所	20	20		20
12	神石高原油木第一発電所	79	79		79
13	宇部川上発電所	166	166		166
14	吉田中馬発電所	56	56		56
15	安芸高田市美土里第一発電所	18	18		18
16	安芸高田市美土里第二発電所	6	6		6
17	安芸高田市美土里第三発電所	7	7		7
18	安芸高田市美土里第四発電所	6	6		6
19	神石高原時安発電所	41	41		41
20	神石高原永野発電所	18	18		18
21	防府牟礼末清発電所	80	80		80
22	防府牟礼新山発電所	124	124		124
	合計	1,075	1,075	0	1,075

### 3. プロジェクトの評価および選定のプロセス

#### 3-1. 環境面での目標

本借入の調達資金を充当するプロジェクトにより達成される「環境面での目標」(グリーンローンを通じて実現しようとする環境上のメリット)と関連する環境改善効果は、以下の通りとなります。

環境面での目標	環境改善効果
気候変動の緩和	CO2排出量の削減

#### 3-2. プロジェクトの評価・選定のプロセス

WAKO GROUPは、CSRにおける基本理念として「次世代に繋げる企業」を掲げ、CSRを事業の基盤として積極的に取り入れ、環境自主行動計画のなかで行動指針を策定している。

プロジェクトの選定にあたってはこれらの行動指針に加え 1-2「CSR・ESGへの取り組み」に記載された課題解決への貢献性、3-1「環境面の目標」に記載された環境改善効果がもたらされる蓋然性を考慮し、借入人の関連会社である株式会社 ALL アセットパートナーズ、借入人各事業部(太陽光開発部門・不動産部・経理部)の責任者による協議及び取締役会の決裁により、プロジェクト実施の最終決定がなされました。

### 4. 調達資金の管理方針

#### 4-1. 調達資金の管理方法

本借入による調達資金の充当管理は経理部が行います。本借入による調達資金総額、プロジェクトへの充当済資金、未充当資金は、電子ファイルにて管理します。

全ての調達資金が充当された後は、調達資金額が調達資金からプロジェクトへ充当された累計額と一致するよう、また、借入人からプロジェクトへ充当された累計額が調達資金額を上回るように管理することとします。

#### 4-2. 未充当資金の運用方法

未充当金額については、発生する予定がありませんが、仮に発生した場合には、現金または現金同等物、短期金融資産等で運用します。

#### 4-3. 文書管理の方法

調達資金に関連する証憑となる文書等については、社内規定に基づき適切に管理します。



## 5. レポーティング方針

### 5-1. レポート方法

借入人は、本借入による調達資金のプロジェクトに対する充当状況や環境改善効果等についての最新の情報を、以下のスケジュールでウェブサイトにて一般に開示します。また、本借入による全ての調達資金がプロジェクトに充当された後においても、大きな状況の変化が生じた場合は、適宜開示します。

- ①借入時レポート:本借入が借入された直後に実施します。
- ②年度レポート:本借入の償還までの間、1年に1度実施します。

### 5-2. 開示内容

レポートには以下の内容を含む予定です。環境改善効果の算定に当たっては、本フレームワークで定義した算定方法に則り、適切に実施します。

#### 開示内容

- ・プロジェクトの一覧及び概要
- ・プロジェクトに充当した資金の額
- ・未充当資金の額、資金充当の予定、未充当資金の運用方法
- ・グリーンプロジェクトによる環境改善効果(CO2排出削減量)

### 5-3. レポーティング体制

借入時レポートおよび年度レポートは、借入人の経理部が主管として作成することとし、調達資金に関する情報収集・記載事項の確認、環境改善効果に関する情報収集・記載事項の確認を実施します。

## 6. 外部レビュー方針

借入人は、本借入時に、本グリーンローンフレームワークがローン・マーケット協会(LMA)「グリーンローン原則2021」および環境省「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2022年版」に定められた要件と適合性を有しているかという観点から、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより、セカンド・パーティーオピニオンを取得しております。

以上